

学生の皆さんへ

令和2年7月2日

学長 新井 一

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の流行が依然として終息しないなか、前期はオンライン授業中心の講義が継続となっています。学生の皆さんには、油断することなく健康に十分に留意して、オンライン授業による勉学に励んでもらうことをお願いします。先般、医学部とスポーツ健康科学部の1年生の後期授業および啓心寮について大学の方針をお知らせしたところですが、本日はCOVID-19の現状を踏まえ、今後の大学の活動全般について改めてお知らせします。

1 後期からの授業形態

前期はオンライン授業を継続しますが、後期からは対面型授業とオンライン授業を組み合わせた新たな形態での講義を実施すべく準備を進めています。

2 キャンパス・学術メディアセンターの利用について

緊急事態宣言のもと実施された本郷・お茶の水キャンパス、さくらキャンパス、浦安キャンパス、三島キャンパスへの学生の立入禁止措置は、現在各キャンパスの判断に基づき一部解除となっています。今後も、感染対策に留意しつつ段階を踏んでキャンパスを開放していく予定です。また、各キャンパスの学術メディアセンターは、開館時間を短縮するなどの措置をとっていますが、三密状態を避けることを条件に利用可能となっています。詳細は各キャンパス事務室・学術メディアセンターに確認してください。

3 課外活動について

学生の課外活動は、既にオンラインでのサークル活動など感染対策上問題のないものに関しては各学部の判断で実施を認めているところですが、今後はスポーツ健康科学部の運動部の活動等、その他の課外活動についても安全を確保しながら段階的に規制を緩和して再開するようにします。特に、スポーツ健康科学部の運動部の大会参加（対外試合）については、関連する競技団体の意向を踏まえつつ感染対策上問題のないことを確認した上で、一定の条件のもとで再開するようにします。詳細は各キャンパス事務室に確認してください。

4 医学部・医療看護学部・保健看護学部の実習について

医学部の実習については6月から既に再開しており、医療看護学部・保健看護学部の実習も7月から再開予定です。実習参加にあたっては、発熱チェックなど体調管理を徹底して感染対策に十分留意するようお願いします。

5 研究活動について

緊急事態宣言のもと自粛となった研究活動は、現在までに段階を踏んで再開となっていますが、研究室を利用するにあたっては引き続き感染対策に万全を期することをお願いします。

6 附属6病院での取り組みについて

本学医学部附属6病院は、COVID-19の診断・治療に積極的に関わっています。PCRなど検査体制の整備、医師や看護師、その他の職種からなるCOVID-19対応チームの組織化、病院内のゾーニングの徹底など必要な処置を講じて、これまで院内感染を起こすことなく多くの症例を受け入れてきました。今後も大学附属病院としての責務を果たすべく、本学に求められる医療を行ってまいります。

学生と教職員一人一人がCOVID-19を正しく理解し、しっかりとした自覚を持って行動することが極めて重要です。秋に学生の皆さんと、元気にお会いできることを楽しみにしています。

以上